

人事委員会議事録（第1649回）

1 開催日時

令和2年12月17日（木）14：55～16：20

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

| | | |
|-------|-------|---------------|
| 委員 | 松田直人 | 委員長 |
| | 鈴木尉久 | 委員 |
| | 長尾真 | 委員 |
| 事務局職員 | 西村嘉浩 | 事務局長 |
| | 森本剛史 | 任用課長 |
| | 古川卓哉 | 給与課長 |
| | 岡野揮代美 | 任用課副課長兼総務審査班長 |
| | 小倉豊道 | 給与課副課長 |

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1648回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

行政手続に関する押印の見直しに伴い規則等の一部を改正する規則等制定の件 －職員の勤務条件に関する措置の要求に関する規則等9件－

任用課長が、標記規則等の改正内容を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

様式の印欄を廃止することに代えて、本人確認のために電話番号欄を追加することだが、実際に電話をかけて本人確認をするのか。

（事務局）

例えば、審査請求取下届の提出があった場合には、現在でも実際に本人又は代理人に電話をして意思確認をしており、今回改正される様式も、必要に応じて本人確認を行うことになる。

（委員）

押印廃止の実施日は統一されているのか。

（事務局）

今回の改正案は、全て来年1月1日付け施行である。押印手続は県全体で1,895件あり、その98.5%が押印廃止で検討が進められており、今年中又は今年度内に改正見込みである。

(委員)

そもそも押印を廃止する目的は何か。申請時の押印を廃止して、業務が簡素化されるのか。

(事務局)

電子申請・決裁の推進により押印が廃止されることで、一定の簡素化は図られると考えている。

(委員)

自署するなら別だが、本人が本当に申請したのか確認するのは本当は難しい。

(委員)

有印私文書偽造でなければ刑罰対象にならないから、押印制度は刑罰の威嚇のもとに真正を担保しようということではないか。ただ、そういう意識で押印する人は少ないし、今回改正する手続は間違えても大きな影響がないものなので、これでいいと思う。今後改正する審査請求審査規則等は、慎重に検討する必要がある。

第3号議案

経験者採用試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（12月18日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

受験者は転職希望者が多いのか。不況時に就職できなかった者を救済するための試験ではないのか。

(事務局)

公務では得られない民間企業等での経験や実績を活かして活躍していただくことを目的としている。不況時に就職できなかった方は、別途実施している社会人経験者採用試験の対象となる。

(委員)

合格者の職業はどのような分野が多いのか。

(事務局)

一般事務職の例では、金融業、サービス業、製造業など幅広い分野である。

報告事項1

職員勤務実態調査の書面調査の結果

任用課長が、標記調査の書面調査の結果等を報告するとともに、今年度実施する実地調査（案）を説明した。

(委員)

メンタルヘルス発生件数とはどういったものか。

(事務局)

精神疾患を理由として、休暇を取得している職員数である。

(委員)

本調査への回答は、責任ある立場の職員が実態に即して回答しているのか。自己申告を信頼していいのか。

(事務局)

例えば、学校の場合は、教頭又は事務長が責任者として回答している。実態は実地調査で確認していく。

(委員)

県立学校では教壇にアクリル板は設置しているのか。

(事務局)

教師がフェイスシールドやマスクを着用している。アクリル板は設置していない学校が多いと思われる。

報告事項 2

職員採用ガイダンスの開催結果

任用課長が、標記ガイダンスの開催結果を報告した。

(委員)

個別相談会が好評だったとのことだが、WEBの個別相談会であれば参加者がもっと増えるし、職員側の負担も減り、関心ある方をしっかり取り込めるのではないか。

(事務局)

WEBの個別相談は、事前予約制にするなどの方法により、比較的容易に実施できるので検討していきたい。

(委員)

個別相談はどのように行ったのか。

(事務局)

一般事務職は8人、その他の職種は2人ずつ相談員を配置した。質問回数は制限しなかったため、順番待ちも多少発生したが、事務局が空いている相談員に適宜誘導を行った。

(委員)

コロナの影響で昨年度より参加者が減ったということだが、申込者の状況はどうだったのか。

(事務局)

コロナ対策で座席間隔を広げ定員を減らしたため抽選制とし、申込者540名に対し313名を当選とした。出席者は267名で、出席率は85%だった。昨年度同様、資料をホームページに掲載し、参加できなかった方にはその旨をメールで案内している。

(委員)

参加希望の学生を断ってしまうのはもったいない気がする。全体説明や質疑応答等は録画してオンデマンドで流してもよいかもしれない。

(事務局)

全体説明は、現在試験的に動画配信しており、今後は質を向上させていきたい。

(委員)

個別相談を担当する職員は、仕事内容をわかりやすく説明するための資料、パンフレット等を準備してくれているのか。また、今回の個別相談であった質問を整理し、次回以降、職員に事前に伝えておくのがよいと思う。

閉 会